

叱ることで起きる四つの弊害を学ぼう

(1) なぜ、叱る状況になるのでしょうか。薄い字をなぞりましょう。

課題設定 や 環境設定 が不十分で、

~~その子にできないことを、期待したり指示したりするから。~~

(説明) 適切な行動ができるように、教師が課題や環境を整えることが大切です。叱らなければならないと思った時点で、責任は教師にあるのです。

(2) 叱ることの弊害は以下の4つです。薄い字をなぞり、説明を読みましょう。

1 近接領域弱法の原理

(説明) 叱る側は、一つのことについて行っているつもりでも、叱られる側は全体を否定された気持ちになってしまうこと。

2 弁別の原理

(説明) 叱る人がいるときに限り問題を起こさなくなること。叱る人がいなくなると、問題行動が増えてしまう。

3 派生の原理

(説明) 叱る人に関係すること全て嫌いになること。

4 反発の原理

(説明) 叱る人に反発すること。指示などを聞かず、反発をし、言うことを聞かなくなること。

(3) 以下の状況では、何が起きているのでしょうか。上記の用語を使って説明しましょう。

[4：14字×24行×4段（タイトル15行を含む）]

教育トークライン原稿 ○月号 P.○

忘れ物をしたAくん（小学校6年）」。担任の先生に忘れ物をしたことを告げたところ、

「お前はいつも忘れ物するよな。全く。反省してないだろう。毎日毎日、よくそんなに忘れ物

ができるな。いつになったら忘れ物減るんだよ！！」

と担任から叱責を受けました。Aくんはその後の授業に参加せず、机に突っ伏していました。先

生が授業中に指名しても無視していました。給食でAくんの好きなカレーが出ました。しかし、

Aくんは、先生も好きなカレーを食べずに机に突っ伏したままでした。